学校通信

令和2年10月13日

ぼくらは太正



No. 5

||トアアトレス http://www.nagoya-c.ed.jp/school/higashisakura-e/ 名古屋市立東桜小学校

ソーシャルティスタンスをみんなで守ろうキャンペーン



【思いやりのきょり】

新型コロナウイルス感染症予防への意識を高めるために、 新空コロノワイルス際条証予防への息融を高めるために、元 童会が見出しのキャンペーンを行いました。教室前の廊下に、 ソーシャルディスタンスを守るための目安となる、動物の足跡 イラストを貼り、守れたかどうかを児童たちが1~5点で自己 評価しました。5日間で16点を超えるとソーシャルディスタ ンスマスターになれるということで、多くの児童が友達との「思 いやりのきょり」を意識して生活することができました。 企画が終わった後生、感染症予防を音識しながら過ごすこと

企画が終わった後も、感染症予防を意識しながら過ごすこと ができるように言葉掛けをしていきます。

福祉体験(盲導犬ファミ-ユ号)

10月1日(木)、守山区にお住まいの寺西さんと盲導犬(ファミーユ号)をゲストティーチャーとしてお招きして福祉体 験を行いました。

験を行いました。 明るささえ感じることのできない生活において、困ること や助けてほしいことなどを教えていただき、私たちに何がで きるのか考えることができました。 交差点を渡ろうとする時、自動車や自転車などがいるかど うかを判断するには、音にしか頼ることができず、声を掛け てもらえると、とてもありがたいことや、電車やバスで、かく席を譲ってもらっても、どこの席なのかわからないの で、案内してもらえると助かることなど、私たちの想像を超 える苦労があることがわかりました。



【寺西さんとファミーユ号】



【ファミーユ号との触れ合い】

また、盲導犬はハーネス(背に付けた持ち手)を付けている時が仕事中の合図で、そのときは盲導犬に触ったり、食べ物を与えたりしてはいけないことを教えていただきました。さらに、目を合わそうとすると、盲導犬がその人と遊びたくなってしまうので、しないでほしいと教えていた だきました。

福祉体験の後、ハーネスを外したファミーユ号と触れ合う機会があり、多くの児童たちが頭をなでてやったり背中をマッサージしてやったりと、スキンシップを取ることができ、みんなうれしそうでした。

5年生 南知多野外学習

中津川野外教育活動の代替行事として、感染症予防に配慮しながら、南知多グリーンバレイで野外学習を行いました。 新を使って火を焚き、飯ごう炊さんを行いました。どのテーブルも大変おいしいご飯が炊けて、大満足の昼食でした。 あいにくの天候で、予定していたフィールドアスレチックはできませんでしたが、南知多ビーチランドに場所を移し、目覚をしました。

見学をしました。イルカにタッチしたり、水族館を見学した りと、海の生き物とふれ合いました。また、GoTo キャンペーンの一環で、1000 円分のクーポンがもらえたので、お土産の買い物をすることができました。良い思い出の一つになったのではないかと思います。



【飯ごう炊さんの様子】